

研究機関名：東北大学

1. 受付番号	2024-006
2. 研究課題名	失語症者向け意思疎通支援者の会話方略の評価
3. 研究期間	令和6年8月（倫理審査委員会承認後）～ 令和 8年3月31日
4. 研究の概要	意義・目的（研究の背景・目的や倫理的項目についての的確に記すこと。） 失語症者は脳の言語中枢に損傷を受け、「聞く、話す、読む、書く」という言葉の4技能に障害を持つことから、他者とのコミュニケーションに支障をきたし、生活のあらゆる場面で困難を強いられる。そこで、失語症者に対する、日常的なサポートを確立させるために、失語症者向け意思疎通支援者（以降支援者）の養成及び活動が広がっている。今後失語症者の社会参加促進を目指すうえで、この支援者の養成及び活動は欠かせないものとなる。しかし現在のところ、支援者の失語症者との会話の仕方を評価する方法は、まだ確立されていない。そこで本研究課題では、支援者の失語症者との会話方略を、実践経験豊富な言語聴覚士が失語症者と会話する場合と比較検討し、新規に活動を始めようとする支援者や訓練経験のない対話者が習得しにくい、気づきにくいような円滑な失語症者に対する会話態度や会話技術を習得できる材料となるような会話評価を作成することを目的とする。 方法（研究に必要な対象者人数、年齢構成、性別、および対象者を選ぶ方針・基準も記すこと） 本研究では、①慢性期の失語症者の方々に、研修中の支援者および経験豊富な言語聴覚士とそれぞれ与えられた簡単なテーマで会話をしていただき、その様子を録画する。その上で、②録画データにおける支援者と言語聴覚士それぞれの会話の態度や方略について、一般の日本語母語話者約20名に本研究で作成する評価基準にしたがって定量的に評価してもらう。その評価の結果を支援者と言語聴覚士とで比較・考察する。 40代以上の失語症者10名、言語聴覚士10名、支援者10名を予定する。また、学生約20名を募集する予定である。 問い合わせ・苦情等の窓口（講座・研究室の連絡先を記入し、研究者の個人名は記入しないこと） 東北大学大学院文学研究科言語学研究室（022-795-5983） 東北大学川内南地区「人を対象とした医学系研究」 倫理審査委員会事務局（022-795-6103）

（紙面が不足するときには、罫線の縦幅を任意に増やし、次頁送りにしてください。）